

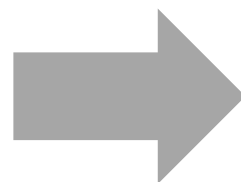
自然現象等対策 – 自然災害への対応に必要な人員の数や設備・資機材 –



ワーキングの詳細
はこちらから

論点No.49

自然災害が発生した時の初動対応に必要な資機材や人員は確保されているのか。
また、自然災害などにより電源を喪失した場合を想定しても必要な作業・操作はできるのか。



第16回ワーキング
(2020.2.7)
第28回ワーキング
(2024.7.23) で議論

ワーキングチーム検証結果

自然災害の初動対応に必要な資機材は事前に配備するとともに、対処に必要な人員を発電所に24時間常駐させること、また、電源喪失が発生した場合に備え、代替電源確保等の手段を確保していることを確認。

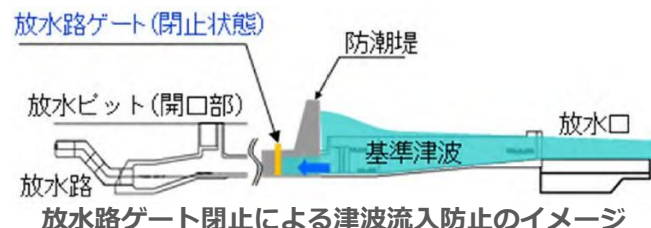
ワーキングチーム検証結果（抜粋）

○初動に人の操作（ソフト対応）が必要な自然災害とその内容

- ・ 発電所に対し影響を及ぼし得る外部事象※のうち、次の事象はソフト面での初動対応が必要
- ・ これらの初動対応に必要な資機材は事前に配備するとともに、発電所に24時間常駐する災害対策要員（39名）で対応できることを確認している。

【津波】

- ・ 津波が放水路を経由し敷地内に流入しないよう、津波襲来時には常用系海水ポンプを停止した上で放水路ゲートを閉止する。
- ・ 放水路ゲートの閉止は、外部電源が利用できない場合においても閉止できるような設計（電動駆動式及び自重降下式）とする。



※ 風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山、生物学的事象、外部火災（森林火災、爆発及び近隣工場等の火災）、高潮、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害

【火山（降下火砕物）】

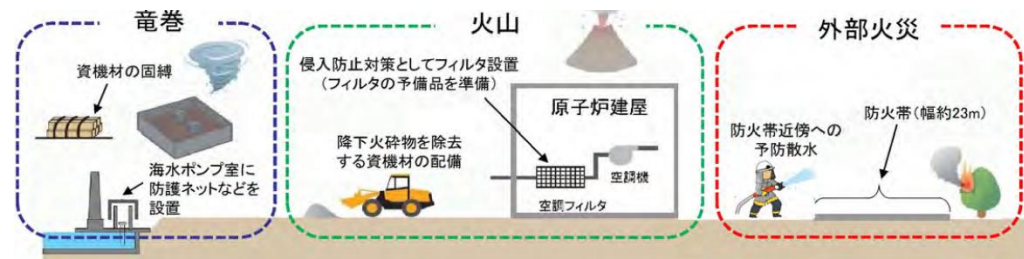
- ・ 吸気口にフィルタを有する設備について、火砕物（火山灰等）降下中にフィルタが詰まらないよう吸気の停止又はフィルタの取替・清掃作業を実施
- ・ 外部電源及び非常用ディーゼル発電機の機能が喪失した場合は電源を要しないポンプ及び可搬型代替低圧電源車等の代替電源を用いて炉心の冷却を実施

【竜巻】

- ・ 竜巻襲来の可能性を覚知した場合、竜巻飛来物対策のため、竜巻の到達前に扉等の閉止作業、資機材の固縛、車両の退避等を実施

【外部火災】

- ・ 外部火災発生時は、火災の二次的影響であるばい煙等が侵入しないよう換気空調系の遮断や飛び火等による延焼防止のため自衛消防隊による対応を実施



竜巻、火山、外部事象への対応のイメージ